

林 ただまさ

議会だより

人と人との絆・支えあいを大切に！

ホームページ「林ただまさ通信」 * あなたの声をお寄せ下さい

No. 56 令和4年4月1日

発行 林 ただまさ

住所 廿日市市地御前 3-13-3

電話 0829-36-1307

携帯電話 090-3376-9918

Email hayashi-tada@hi.enjoy.ne.jp

林ただまさ街づくり Blog

<http://mitsukosan.blog57.fc2.com/>

(議会、活動状況を逐次掲載)

《廿日市市議会》

令和4年3月定例会

(2月22日、3月23日)

議案47件、報告5件、決議1件、
所管事務調査

令和4年度予算

一般会計 526億円(19億円増)
特別会計 256億円(7億円増)
企業会計 133億円(1億円減)
全会計合計 917億円

市債残高 714億円(11億円増)
基金残高 68億円(8億円減)

(端数切捨て表示)



私の一般質問(2月24日)

1. 孤独・孤立対策

(背景)

●令和3年2月、日本に孤独・孤立対策担当相を英国(孤独担当相)について2番目に設置。

●令和3年6月、第3期廿日市市地域福祉計画を策定。

●令和3年12月17日に大阪ビル放火事件発生。(拡大自殺)

●令和3年12月28日、孤独・孤立対策の基本方針決定。(4本柱)①支援を求める声を上げやすい社会とする。

②切れ目ない相談支援につなげる。

③見守り・交流の場や居場所づくりを確保し、人と人との「つながり」を実感できる地域づくりを行う。

④NPO等の活動をきめ細かく支援し、官・民・NPO等の連携を強化する。

(質問) 林 ただまさ

現代社会は「経済的な貧困」のみならず、他者との「関係性の貧困」が大きな課題となっている。多くの命を巻き添えにした大阪

のビル放火事件のように、実際にはいろいろな世代で孤独になつて自殺につながるという問題などが起きている。改めて、孤独・孤立を「社会の問題」として捉える必要がある、包括的な相談支援、SNS等による相談の24時間対応、更にアンケートの活用、NPOとの連携強化など、支援を求める声を吸い上げやすい社会にする必要がある、公助、共助が求められている。本市の場合、地域共生社会を目指している第3期地域福祉計画等の推進で孤独・孤立に十分対応できているのか、市の考えを問う。

(答弁) 中川 福祉保健部長

第3期地域福祉計画の「包括的な支援体制の構築」は、国の孤独・孤立対策の基本方針と整合している。孤独・孤立対策においては、それらから生じる更なる問題に至らないよう「予防」の観点が必要であり、暮らしに最も身近な範囲である地域において、当事者やその家族が声を上げやすい環境づくりはもちろんのこと、見守り活動者や民生委員などの支援者による、ちょっとした変化への

「気づき」をできるだけ増やしていくことが欠かせない。このため、多様な主体と重層的支援体制を通じた連携により、居場所や身近な相談場所づくりを進め、誰もが日常の中で自然に「つながり続ける」ことができる地域社会を目指していく。

（再質問等）

地域福祉計画の内容は望ましいものであるが、如何に実効性あるものにしていくかが課題である、という質疑に対し5月から移転するあいプラザで重層的な相談支援を充実させるなどで実効性あるものにするとの答弁であった。

2. 宮島の重伝建（重要伝統的建造物群保存地区）選定

（県内重伝建選定）

- 竹原市竹原地区、製塩町
昭和57年2月16日選定
- 呉市御手洗地区、港町
平成6年7月4日選定
- 福山市鞆地区、港町
平成29年11月28日選定
- 廿日市市宮島地区、門前町
令和3年8月2日選定

（質問）林 ただまさ

この度、宮島が厳島神社の門前町として重伝建の選定を受け、これから町並み保存が始まるようにしている。先日記念講演があり、神社、寺院の関係者の住居が立ち並んだ西町は戦国時代には成立していたとされ、東町は江戸時代までに埋め立てによって築かれ、神社や寺院への参拝客たちの門前町として栄えており、歴史的意義のあるものだとして認識した。県内には既に竹原、御手洗、鞆地区が重伝建の選定を受け町並みの保存が進んでいる。これらの地区は主に重伝建そのものが観光の目玉であり、当事者も支える側もそれなりにモチベーションが高いが、宮島の場合は世界遺産厳島神社、日本三景などいろいろ観光資源もあり、重伝建として他の地区に比べると地元の機運は高まりつつあるが、これからと思われる。改めて、歴史的意義のある重伝建を後世に残し、観光資源としてコロナ禍で落ち込んでいる観光客の回復を図るためにも、まちづくりと地域内外の盛り上がりが必要と思われるが市の考えを問う。

（答弁）久保 都市建築担当部長

厳島神社の門前町である町並みは、これまでその文化的な価値がありながら、あまり脚光を浴びてこなかった。平成15年の町並み調査によって、改めてその価値が認識され、昨年重伝建の選定を受けた。この取り組みの中で、住民主体の「宮島の町家に親しむ会」や、地元工務店などで構成する「伝建宮島工務店の会」も発足し機運が高まりつつある。本市としては、こうした町並みの保存に向けた主体的な活動をサポートするとともに、これらの団体を支援し、町並みをより魅力的なものとし、後世に引き継いでいく。

トピックス

- 令和4年4月1日付組織改編、活用よろしくお願い致します
- 自治振興部を再編して「地域振興部」を設置し、スポーツを所管する課を設け、スポーツに関する事務（学校体育を除く）を教育委員会から市長部局に移管。
- 環境産業部を再編し「生活環境部」、「産業部」を設置し、「生活環境部」が環境保全等と市民課窓口

業務を担当し、「産業部」が商工等、観光、農林水産業を担当。

●福祉保健部を再編し「健康福祉部」を設置し、国保等に関することは生活環境部保険課の事務とし、健康福祉部は総合福祉センター（あいプラザ）に令和4年5月に移転。（3階が相談コーナー）

3月3日付で、廿日市市議会での「ロシアによるウクライナ侵攻に対し平和的解決を求める決議」を添付し、市長と議長名で駐日ロシア連邦大使館へ抗議文を送付し、3月14日付で、ウクライナからの避難民受け入れも表明した。

あとかき

オミクロン株のコロナ感染で広島県も1月9日～3月6日にまん延防止措置の適用となった。今後も3回目のワクチン接種、医療提供体制の強化に加えマスク等感染予防も徹底していきたい。更に、コロナ対策と経済再生の両立を目指した令和3年度補正予算、令和4年度当初予算を併せたこの度の16ヶ月予算の効果を充分発揮させたいものである。

